

会員講演会「東南アジアの貿易を読み解く EU 規制が与える戦略的影響」開催報告

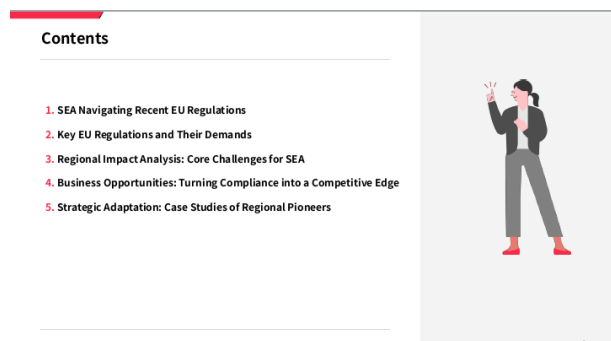
開催日時：2026年1月20日（水）10：00－11：00 開催方法：オンライン（Zoom）

参加人数：56名（講師含め）アンケート結果：大変満足33%＋満足63%

この度、UZABASE ASIA PACIFIC PTE LTD より講師をお招きし、「東南アジアの貿易を読み解く EU 規制が与える戦略的影響」という題で会員講演会を実施いたしました。当日は、合計56名の方にご視聴をいただきました。

欧州連合が推進する EUDR（森林破壊防止規制）や CBAM（炭素国境調整メカニズム）などの規則は、欧州市場を主要な輸出先とする東南アジア諸国にとって喫緊の課題となっています。本講演会では、こうした課題の提示に加え、複雑な規制対応に対する発想転換のヒントや、新たなビジネス機会へとつなげる戦略的アプローチについて情報提供をいただきました。さらに、市場シェアの維持や高付加価値な「グリーン」製品の創出、「Compliance-as-a-Service」といった新しいビジネスモデルの可能性にも言及いただき、東南アジア企業の事例を交えながら、日本企業の皆様にとっての成功のヒントを示唆いただきました。

講演会内で一番印象に残った内容として、「EU 規制の中でのビジネスチャンス」、「EU 規制による東南アジアにかかる商流への影響」、「EU 規制対応はコストではなく、東南アジア企業・日本企業にとって『差別化と事業機会の源泉』になり得る点」、「規制により新しいビジネスモデルが立ち上がってきているという話」が挙げられました。また参加者からは、「環境規制については弊社の顧客も関心がある分野なので参考にさせていただきます」「様々な規制観点から見なければならないということ。リソースが限られている中小企業には対応が厳しいのではないかと感じた」「今後どう対応をしていけばいいのかを考える機会になりました」「ASEAN のビジネスへの影響度合いが理解できました」などのフィードバックもいただきました。



【講演会スライド（抜粋）】



【講師の上田氏】